

あなたと議会をおすすめ

議会広報

令和8年2月26日発行

第185号

あじがさわ

発行…青森県鯉ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鯉ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173-82-0906(直通)

この広報紙は、議員の自主編集で発行しています。



～ にじ組 新年親子お茶会 ～

社会福祉法人つくし会 認定こども園 つくしの森（小野ユミ園長）では、にじ組（5歳児）15名による新年親子お茶会が行われました。園児たちは親子で作った抹茶茶碗を手に、毛氈（もうせん）の上で、これまで練習したお点前やお運びを披露しました。

令和8年1月6日

12月
定例会号

第4回定例会	2
令和8年第1回臨時会	3
一般質問	4～6
議会活動、議会開催状況	7～9
特集 はつらつチャレンジャー 好きを力に	10

鯉ヶ沢町議会ホームページへアクセス

鯉ヶ沢町議会 検索



二次元
バーコードは
こちらから

令和7年
第4回
定例会

会期
12月9日~12日

一般職職員の給与に関する条例等の改正及び補正予算など可決

令和7年第4回定例会が12月9日から12日までの日程で開かれました。

本定例会には、議案23件、報告4件が上程されました。11日の一般質問では、議員3名が第6次鯉ヶ沢町長期総合計画について、人口減少問題について、集団総合健診についてなどを町政に問いました。(質問内容は4~6ページに掲載しています)

最終日には、本会議において審議の結果、全て原案どおり議決されました。

また、議員全員による発議として条例改正案など2件が追加上程され議決されました。主な議案等は次のとおりとなっています。

▼一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

可決

10月6日付、青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、職員の給料月額並びに通勤手当、宿日直手当、期末手当及び勤勉手当の額等を改定するため関係条例の整備を行うためのもの。

【主な改正内容】

一般職の職員の給与に関する条例
・宿日直手当の支給

額を引上げ改定

・期末手当及び勤勉手当の支給割合引上げ改定

・給料表の改定(人事院勧告の内容に準じ、若年層に重点を置きつつその他の職員も引上げ改定)ほか

円となりました。

【主な歳入補正予算】

・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 767万

・財政調整基金繰入金 3000円

・一般寄附金 7000円

▼令和7年度一般会計補正予算

可決

一般会計予算は、

歳入・歳出それぞれ2億7326万2000円減額し、補正

後の予算総額は84億5404万3000円

【主な歳出補正予算】

・職員の給与引上げに伴う関連経費 2405万

・旧第二中学校車庫 4000円

シャッター取替工事 189万

古民家保全工事 2000円

防災マップ作成業務委託料 4000円

776万 6000円



洪水基準見直しで改訂する防災マップ

▼発議第1号

町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

可決

議会に係る手続のオンライン化に対応した改正と、委員選任に関する規定の見直し。

令和8年4月1日施行

○災害や育児、介護等の時でもオンラインで委員会が開催できます。

▼発議第2号

町議会会議規則の一部を改正する規則の制定

可決

地方自治法の一部改正に伴い、議会に係る手続きのオンライン化に対応した改正及び現在の社会情勢に照らし合わせた文言の整備。

令和8年4月1日施行

○議会の通知や文書の電子化に対応します。



総括質疑のようす

第4回定例会総括質疑の内容を一部抜粋してお知らせします。

問【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について】

（佐藤薫議員）補正予算に計上されている物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金767万3000円の用途について伺います。

答（神企画観光課長）令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、国が示す推奨メニューである「中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援」として、町では「指定管理施設エネルギー価格高騰対策事業」を実施します。大高山総合公園、長平青少年旅行村、海の駅わんど、鱈ヶ沢町斎場の4施設について、令和6年度決算で赤字となった指定管理者に対し、電気

料金高騰分（令和3年度と令和7年度の単価差）を令和7年度の使用料として補助するものです。

意見（佐藤薫議員）交付金の名称から、住民が直接恩恵を受ける事業を想定していたので確認しました。

問【古民家保全工事について】

（佐藤薫議員）補正予算に計上されている古民家保全工事の内容について伺います。

答（神企画観光課長）今年7月に町が無償譲渡を受けた「漁師町旧中村家」について、建物保全及び周辺の安全確保のため、外壁等の飛散防止措置を実施します。降雪状況によつては附属棟の解体工事をを行う可能性があり、その経費を計上しています。

要望（佐藤薫議員）本件は、9月定例会での一般質問後に新聞でも取り上げられ、町長から「旧鱈ヶ沢地区は役場や消防の解

体、県出先機関の廃止などで元気がなくなっており、まちづくりや回遊の拠点として活用できれば」とのコメントがありました。新年度には、次の段階を見据えた事業展開を進めていただくよう要望します。



第1回臨時会
2月12日

第1回臨時会が令和8年2月12日行われまし

た。上程された議案5件について審議を行い、全会一致で可決、承認、同意されました。主な議案は、次のとおりとなっています。

▼令和7年度一般会計補正予算
可決

【主な歳出補正】

- ・災害救助費（障害物除去委託料（除排雪））
719万5000円
- ・除排雪対策費
4720万円
- ・除雪機械管理費
280万円

▼専決処分
承認

【主な歳出補正】

- 専決第9号
（12月25日専決処分）
・物価高対応子育て応援手当支給事業費
1528万7000円

○専決第1号
（1月19日専決処分）
・物価高騰対策事業費
1億8588万
2000円

○専決第2号
（1月26日専決処分）
・除排雪対策費 1億円
○専決第3号

（1月30日専決処分）
・災害救助費（障害物除去委託料（除排雪））
719万5000円

▼副町長の選任につき同意を求めることについて
同意



令和8年2月28日、任期満了となる副町長に現副町長の加藤隆之氏（64歳）を引き続き選任するもの。

【任期】令和8年3月1日から4年



議員 忠光 菊谷

漁業従事者の所得向上・経営力強化について 答へ漁協と連携し施策の推進に努める

12月定例会では、3名の議員が一般質問しました。その内容を要約して掲載します。一般質問では町の行政全般に関し町長の考えや、町の施政方針を問います。

第6次鱒ヶ沢町
長期総合計画を問う

問・つくり、育てる漁業の推進に関する取組内容など、現状の施策や今後の方針について伺います。

答弁・碓谷農林水産課長
水産業の振興を図るための実施事業である元気な浜づくり推進事業を活用し、鱒ヶ沢町漁業協同組合に対して、各種魚種の資源確保を目的とした種苗放流事業やサケ資源の回復に向けた事業に助成を行っています。

水産業を持続可能な基幹産業として展開していくため、今後も継続して、事業に取り組んでいきたいと考えております。

問・イトウ、アユは分かる

のですが、そのほかにもどんな種類の水産物に関わっているでしょうか。

答弁・碓谷農林水産課長
イトウ、アユ以外のつくり、育てる漁業の対象魚種ですが、ここ数年はキツネメバルやアイナメといった回遊性の低い根魚の種苗放流にも着手し、今年度もこれら根魚であるキツネメバルやアイナメのほか、引き続きエゾアワビとマダイの種苗も放流しております。

問・温暖化により魚が捕れなくなったり、おかしな状況でありますが、現在、養殖や放流など取り組んでいる水産物ではなく、温暖化など環境変化に強いと思われる他の種類への移行などの考えは

あるか伺います。

答弁・碓谷農林水産課長
地球温暖化や海水温上昇への適応、さらには新たな魚種への転換などについては、一町村だけで解決するのは難しいと考えております。町としては、引き続き海洋環境の変化に適応した漁業の推進などについて、県などに声を届けていきたいと考えておりますが、漁協と十分協議しながら、現在取り組んでいる種苗放流事業を継続し、水産資源の維持と増大に努めていきたいと考えております。

問・漁業従事者の所得向上及び経営力強化に向けた施策について、具体的にどのような内容が考え

られるのか伺います。

答弁・碓谷農林水産課長
基幹産業である水産業を将来にわたって持続させていくことが重要であると考えており、漁協と連携し、令和6年度第3期浜の活力再生プランに基づいた施策の推進に努めているところでです。

問・水揚げした魚の流通はどのようになっているのか、流通先等を伺います。

答弁・碓谷農林水産課長
鱒ヶ沢町漁業協同組合に確認したところ、主要魚種は、流通の基本的な流れとして、買受人による入札が漁協で行われ、大半は卸売市場へ出荷し、そこで再び入札が行われる状況です。

主な市場は、東京の豊洲市場、金沢市場で、その後の流通先としては、広く国内の小売や飲食店等へ流通しているのとことです。

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆当町における緊急銃猟執行の対策について
圃緊急銃猟執行に関するマニュアル作成状況及び損害保険の加入検討状況について伺います。

答は、先月下旬、緊急銃猟制度に関する研修会を開催し、緊急銃猟対応マニュアル案が示されました。その案をたたき台として、現在着手しており、年度内を目的に作成を進めております。

損害保険の加入検討状況ですが、緊急銃猟により万一の事故や損害に備えるため、新年度に向けて加入することとしております。



議員 久尚 菊谷

人口減少問題についての町の施策等は 答へ規模が縮小しても質の高いまちづくりを推進

人口減少問題について

問・鱒ヶ沢町や全国の市町村、都市も含めて抱えている最大の課題、これは急激な人口の減少です。鱒ヶ沢町では、10年前には1万人いました。10年で2000人減って8000人です。このままでいくと、さらに10年後には6000人という人口になってしまいます。

これについて町の今後の施策、考え方、方向性について伺います。

答弁・神企画観光課長

町としては、人口減少を単に止めることを目的とするのではなく、将来にわたり持続可能な町を維持していくことを基本的な考えとしております。そのためには、地域

経済をしつかり支え、暮らしの基盤を守りながら、規模が縮小しても質の高い町づくりを進めるという視点が重要であると考えております。

問・職場は町外であっても鱒ヶ沢町のほうが周辺の市や町に比べて、子育てに優しい町、高齢者が安心して住める町だから、鱒ヶ沢町に住みましようというアピールが必要だと思えます。町として、どのような考えを持っているのか伺います。

答弁・神企画観光課長

町としては、平田町長が就任以来、町づくりの3つの目標として、鱒ヶ沢プライド、鱒ヶ沢ブランド、鱒ヶ沢ライフと掲げており、なかなか簡単にはいくものではないとご承知のことと思えます。今住んでいる人が快適に、

安全に、そして子供たち、孫たち、皆さんが将来にわたり住んでいけるといふものを目指して、町づくりに励んでいます。産業、雇用、教育、福祉、医療など広い分野がありますが、ただいま一生懸命取り組んでおります。

問・町では、危険空き家の解体としての特定空き家対策、空き家の活用としての空き家バンクと2本立てで対策を講じていると思えます。空き家バンクのこれまでの登録等の状況について伺います。

答弁・神企画観光課長

移住、定住の促進や地域の空き家の有効活用を図ることを目的として、空き家バンクを運用しております。登録件数につきましては、令和7年11月現在の登録物件数が8

件、このうち成約に至った件数が2件となっております。また、登録準備を進めている物件が現在4件となっております。

問・急激な人口の減少による問題の一つに労働力不足があります。町内の各企業も人手不足は深刻で、募集してもなかなか人が来ないという状況にあります。こういった状況から、海外に人材を求める動きがあります。町内で就労している外国人労働者の雇用の状況について伺います。

答弁・神企画観光課長

ハローワークや関係機関からの情報提供等を通じて、町内事業所における外国籍の方の就労状況の把握に努めておりますが、個人情報観点や在留資格の種別が多岐にわたることから、町単独で

網羅的にリアルタイムに人数を把握することは、必ずしも容易ではない状況ですが、当町にも一定数の外国人の方が就労している状況にあると認識はしております。

問・事業者が外国人労働者を雇用するために空き家を活用する、そのような場合に活用できる空き家の情報など、事業主に対して町の支援、お金だけではなく、様々な支援は考えているのでしょうか。

答弁・神企画観光課長

外国人問題に関しては大変重要な案件だと思っております。町としても、慎重に協議しながら進めていきたいと思っております。



町内にある空き家のようす



さとう かつら 議員
佐藤 薫

集団総合健診について

問・町で実施している集団総合健診の受診は、無料と有料とに分かれております。胃がん検診、肺がん・結核検診、婦人検診については、現在受診者の自己負担額があります。無料化の対象にして、より町民が受診しやすい環境づくりに努めてほしいと考えますが、町の対応について伺います。

答弁・千島ほけん福祉課長

今年も9月と10月に合わせて13日間にわたる集団総合健診を行い、特定健診や健康診査に併せて胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診及び子宮頸がん検診を実施しております。特定健診及び健康診査、そして大腸がん検診は無料ですが、それ以外

がん検診を無料にして受診しやすい環境に答へようとして受診率向上を図るか検討する

のがん検診は、1検診ごとに500円をいただいております。

ただ、無料クーポン事業として、特定の年齢到達者には500円を無料化することで、検診の周知と受診の意識づけ、きっかけづくりをする工夫をしているところです。

無料化というインパクトによる周知効果は想定されますが、検診によるがんの早期発見が重要であるということの意識づけが आवश्यकであると考えておりますので、どういった取組で受診率向上を図っていくか、庁内で検討してまいりたいと考えております。

問・近隣市町村での胃がん検診や肺がん・結核検診の自己負担額状況についてもお知らせ願います。

答弁・千島ほけん福祉課長

西北五管内において、無料としているところは、つがる市、深浦町、中泊町、鶴田町です。一方、有料としているところは、五所川原市、板柳町です。

問・無料にしている市町村が多いというのがよく分かりました。当町でも以前は自己負担なしとしていた時期があったと記憶しておりますが、回答願います。

答弁・千島ほけん福祉課長

がん検診は現在有料ですが、かなり以前は無料の時もあったようです。平成15年の財政難の折に、収入増加策が打ち出されて以降、有料化が始まったようです。

問・胃がん検診や肺がん・結核検診など、自己負担分の歳入についてお知らせ願います。

答弁・千島ほけん福祉課長

令和6年度の決算額で、集団総合健診と医療機関において実施する婦人検診を合わせると約120万円の収入がありました。

意見・受診率の向上が病気の早期発見、早期治療につながり、そのことが健康寿命の延伸や医療費の削減にもつながります。ぜひ来年度から無料化を実施して、町民サービスの向上に努めてほしいと思います。



集団総合健診の様子

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆物価高騰に伴う町の支援策について

問国では子供1人当たり2万円の給付や、電気・ガス料金の補助で一般家庭の負担を軽減するとしております。

また、自治体が自由に使える重点支援交付金に2兆円を計上することが閣議決定されております。物価高騰に伴う町の支援策について伺います。

答現時点での国が掲げる総合経済対策では、その効果を迅速に国民の皆様にお届けすることが最優先とされています。また、重点支援交付金は2兆円に拡充され、そのうちの4000億円が食料品の物価高騰に対する特別加算となっております。

ただ、詳細については、まだ国から示されておらず、詳しい情報が入り次第、町としての取組を検討し、進めてまいりたいと思います。

令和7年度 町村議会議長全国大会 ・ 西北津軽郡議会議長会視察研修

11月10日から12日まで、町村議会議長全国大会と西北津軽郡町議会議長会の視察研修（東京都ほか）が行われ、田中亨議長が出席しました。

第69回

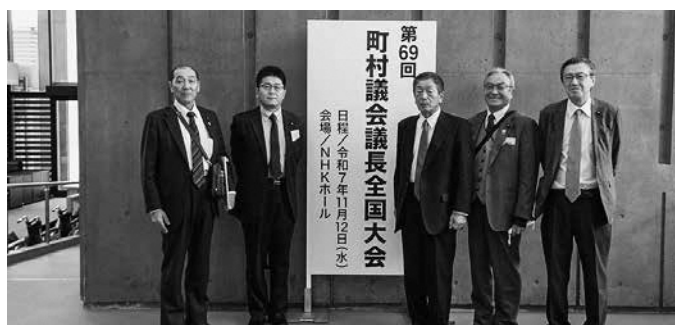
町村議会議長

全国大会

11月12日、NHKホール（東京都）において、町村議会議長全国大会が開催されました。

大会では、はじめに、令和8年度国の予算編成及び施策に他関する要望として37件が大会に提案され、説明の後に満場一致で決定しました。

次に採択された要望事項を踏まえ、緊急かつ重要な課題として解決を図る必要がある「東日本大震災及び令和6年能登半島地震等からの復旧・復興、原子力発電所事故への対応及び防災・減災対策の確立を求める特別決議」など3件が提案され、満場一致で決定されました。



参加した西北津軽郡町議会議長



第69回町村議会議長全国大会のようす

県選出国会議員との

懇談会

11月11日、全国町村会館（東京都）において、青森県町村議会議長会主催の県選出国会議員との懇談会が開催されました。懇談会では県内の町村議長が、県選出国会議員にそれぞれの町村の現状等について話していました。



県選出国会議員との記念撮影

議会会議録を

ホームページで
公開しています

議会の定例会や臨時会が終わってからおおよそ1か月後には、日本拠点館図書コーナーなどで「議会会議録」をご覧いただけます。

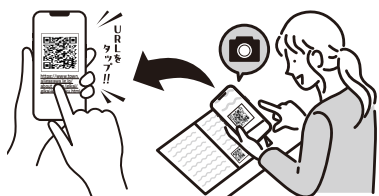
これまで同様の閲覧に加え、議会のホームページからも閲覧できるようになりました。

ホームページでは、令和7年分からの議会会議録を掲載しています。トップページの『会議録検索』からアクセスできますので、ぜひご利用ください。

二次元バーコードからも直接ご覧いただけます。



携帯のカメラアプリや二次元コードを読み取るアプリを起動し、左の二次元コードを画面に写すと表示されるURLをタップすると内容を確認することができます。





鱒ヶ沢駅前での分列行進のようす

鱒ヶ沢町消防団出初式が、1月11日に開催されました。鱒ヶ沢駅前で行われ、その後、白八幡宮において無火災祈願が執り行われました。続いて、山村開発センターに会場を移し、式典が開催されました。纏振りの披露に続き、式典では消防団員への表彰授与が行われ、町議会を代表して須藤一副議長が祝辞を述べました。

鱒ヶ沢町消防団出初式



式典で祝辞を述べる須藤一副議長

出席した団員は、防火・防災への決意を新たにし、地域の安全を守る使命に思いをひとつにしていきました。

知事を囲む

行政懇談会

11月17日、ホテル青森（青森市）において開催された、知事を囲む行政懇談会に、田中亨議長が出席しました。

懇談会では、各郡議長



あいさつをする宮下宗一郎県知事

これからの要望に対し、知事からは県の取り組み状況や今後の方向性についての説明があり、県内各地での抱える課題や要望を共有し、今後の地域振興に向けて連携を深める機会となりました。

会代表から地域課題や今後の施策などについての要望がだされ、特に避難所への冷房機器等の整備に対する財政支援や、災害時にも途絶しない道路の確保など、災害対応に関する要望が挙げられました。

令和7年議会 開催状況

	開催時期	本会議日数	一般質問した議員数	傍聴者数(全日数)
定例会	第1回 (3月議会)	4日	3人	2人
	第2回 (6月議会)	3日	3人	0人
	第3回 (9月議会)	4日	3人	0人
	第4回 (12月議会)	3日	3人	0人
臨時会	第1回 (7月8日)	1日	—	0人

傍聴してみませんか？

—まちの未来が見える場所—

「議会」と聞くと、なんだか難しそう、自分には関係ないかも・・・なんて思っていないですか？

実は、議会は私たちの生活に直結する大事なことが話し合われる場所なのです。

しかも、誰でも、無料で、予約なしで傍聴できます。



第2回

議会改革特別委員会
『ペーパーレス導入協議』

12月19日、町役場委員
会室において、第2回議
会改革特別委員会が開催
され、菊谷忠光委員長、
東條一彦副委員長、今勝
義委員、齋藤孝夫委員が
出席しました。

9月に実施した、ペー
パーレス議会システムの
研修を踏まえた意見交換
が行われました。委員か
らは、今後の議会運営や
災害時の情報共有の観点
から、導入を進めるべき
との意見が多く出され、
委員会として前向きに検
討し、全員協議会で説明
した上で、町へ再要望す
る方針を確認しました。

また、議席での水分補
給については意見が分か
れ、今回の委員会では結
論に至りませんでした
が、さまざまな意見があ
り、今後の検討課題とし
ていくことになりました。

次年度は、議員定数や
報酬の在り方、町民との
意見交換の実施方法など
について、引き続き協議
をすすめていくこととし
ました。



議会改革特別委員会のようす

第2回広報編集委員会
『令和8年度に向けて』

12月12日、町役場委員
会室において、第2回議
会広報編集委員会が開催
され、菊谷忠光委員長、
菊谷尚久委員、木村光義
委員が出席しました。

委員会では、令和7年
度のこれまでの議会広報

活動を振り返るととも
に、次年度に向けた課題
や要望について意見交換
を行いました。

令和7年度は、議会広
報研修で得た知見を活か
し、紙面の文字サイズを
大きくする工夫を行った
結果、紙面上の情報量が
減少したため、会議録を
議会ホームページに掲載
し、二次元バーコードか
ら閲覧できるようにする
など、情報提供の充実を
図ってきました。次年度
に向けては、特集ページ
の内容や人選の検討、広
報研修への積極的な参加
を進めていく方針で意見
がまとまりました。



広報編集委員会のようす



鯉ヶ沢町議会ホームページ 議会のうごきには、議会活動を掲載しておりますので、ご覧ください。

第1回定例会の予定

▼3月6日(金)

開会予定です

《開会後の日程は

次のとおりです》

▽3月9日(月)

一般質問

▽3月11日(水)

総括質疑、

各常任委員会審査、

予算特別委員会審査

▽3月12日(木)

討論、採決、閉会

○議会のようすを知るには…

議会日程は、議会運営委員会におい
て、正式に決定されます。

開会中は、町役場1階町民ホールの
モニターに、議会のようすが流れてい
ます。

議会の本会議では傍聴もできます。
(一般席20席、車椅子席2席)

開催日程、一般質問の議員氏名、質
問事項については町防災無線、町ホ
ムページ、町LINEでお知らせしま
す。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせ
ください。

特集

はつらつチャレンジャー

Vol.14 好きを力に

「はつらつチャレンジャー」14回目の今回は、Design L'oiseau Blue (デザイン ロワゾ・ブルー) 代表 サイトウパピコさんにお話を伺いました。聞き手は、菊谷尚久広報委員と木村光義広報委員です。

てん(ドット)から広がる未来 アートで笑顔を届ける挑戦者



建石町
Design L'oiseau Blue
代表 サイトウパピコさん
(齋藤咲子)

建石町出身、保育士から「ドットアート」のアーティストへ。昨年の秋、建石町にクラウドファンディングでアトリエを創造。お子さん達の生活拠点である鶴田町在住。

Q 絵を描き始めたきっかけは何ですか。
A 小さい頃から絵を描くことが好きで、小学生の頃には「将来、絵に関わる仕事ができたらいいな」と思っていました。

Q ドットアートとの出会いは何ですか。
A SNSを通じてアボリジニアートを知り、その世界観に強く惹かれました。東京での勉強会に参加して、楽しさを実感。その後は独学でドットアートの制作を続けています。綿棒など身近な道具でも描けるドットアートは、小さな子どもでも取り組みやすく、大きな可能性を感じました。

Q 「ロワゾ・ブルー」に込めた思いを教えてください。
A 「ロワゾ・ブルー」はフランス語で「しあわせの青い鳥」という意味です。幸せは探しに行くものではなく、自分の中にあるという物語に共感しました。

Q 活動を続けていく良かったことは何ですか。
A 絵を通して出会った人の幅が大きく広がったことです。作品をきっかけに生まれる会話や、さまざまな人との交流が、自分自身の刺激にもなっています。

Q 苦勞したことや、その乗り越え方がありますか。
A ワークショップなどの子どもたちへの思いを伝えてください。上手・下手ではなく、描く過程そのものを楽しみ、大切にしたいと思っています。「やってみよう」「今日はやりたくない」「ま、いっか」

Q 起業後は、仕事の進め方や心のバランスに悩むこともありませんでした。
A 好きな絵を描き、マーケティングを行い、絵が売れても、心の中は葛藤だらけでした。保育士時代から学んでいた心理学を通じて自分を見つめ直し、少しずつ前向きに進めるようになりました。



アトリエ内のような

Q これからの夢と町への思いを教えてください。
A 山田野に構えたアトリエを拠点に、展示やワークショップをさらに広げていきたいです。

Q 今日のはやりたくない「ま、いっか」な
A 上手・下手ではない、描く過程そのものを楽しみ、大切にしたいと思っています。「やってみよう」「今日はやりたくない」「ま、いっか」



建石町(山田野地区)のアトリエ